

ハイブリッド車の人気と若者の熱気

～大統領選挙目前のインドネシアの風景～

ジャカルタデスク 山下 冬馬

2期10年にわたりインドネシア大統領を務めてきたジョコ・ウィドド氏の任期満期に伴い、2024年2月に大統領選挙が行われます。G20 サミット議長国を務め、バリ島で首脳会議を開催したインドネシア。その今後について大統領選挙の結果に注目が集まる中、今回は、その選挙を目前に控えたインドネシアの風景をお伝えします。

1 電気自動車の苦戦とハイブリッド車の人気

インドネシアでは2060年に温暖化ガス排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を達成する目標が掲げられており、電気自動車（EV）の導入が進められてきました。

しかし、インドネシアで根強い人気がある日本車のEVの種類が少ないこと、充電ステーションが地方で十分整備されていないことなどからEVの普及が進まない現状があります。一方、日系自動車メーカーが販売するハイブリッド車（HV）の人気が高まっています。

トヨタ自動車販売している人気車種では同じモデルでガソリン車とHVの両タイプを販売していますが、80%の顧客がHVを選択しているとのこと。



写真：Toyota HP より

人気の理由は、環境に優しいことに加えて、長距離走行が可能な実用性が備わる点です。

今後、インドネシア経済の基幹である自動車産業について、HVが牽引していくと思われます。

2 内容充実した「ジャカルタ日本祭り」

昨年、コロナ禍以降3年ぶりに「ジャカルタ日本祭り」が開催され、2日間で9万人の来場者、5万人のオンライン参加者を集めました。そして今年は、この祭りがさらに内容充実する形で11月18日から19日の2日間にわたり開催されました。

この祭りは、日本インドネシア友好財団が主催し、在インドネシア日本国大使館、ジャカルタ・ジャパ

ン・クラブが後援するイベントで、インドネシアの若年層を中心に根強い人気があります。

昨年、多くの来場者から屋外開催の要望を集め、本年度は開催予算を昨年の約2倍に設定し、実行委員が2月から準備を進めてきました。

日本からは、インドネシアでも大人気のアニメ「ONE PIECE」の主題歌を担当する「Da-iCE」をはじめ、EXILE TRIBE 所属の「BALLISTIK BOYS」や「PYTCHIC FEVER」、さらに「JKT48」といった人気アーティストを招きステージパフォーマンスを披露するなど、日本文化を発信する場となりました。



正面ゲート・協賛企業展示



お神輿展示

写真：ジャカルタ日本祭り実行委員会提供

3 若い日本人の活躍が期待されるインドネシア

コロナ禍の収束にともない、インドネシアでのビジネスに挑戦する若い世代の日本人も増えてきました。他国に比して就労ビザの取得要件が緩やかなこと、北米・欧州において程高い英語力が必要とされないことなどから、多くの若者が活躍しています。

そして、若い世代間での情報交換の場として「JAHE (JAPAN HEISEI) 会」が開催されています。これまで4回開催されているJAHE会には平成以降生まれの約80人がメンバー登録されており、毎回50人前後が参加するとのこと。

会の創設者であり幹事の松岡氏は「今まで若い世代が交流し情報を交換する場が少なく、インドネシアを盛り上げる活動にしていきたい」と話します。



写真：松岡氏提供

ひょうご海外ビジネスセンターは、世界11カ所に海外展開現地相談窓口として「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置しています。本通信は、毎月1回、各デスクから寄せられる現地トピックスを順にお届けするものです。